

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	ガラス建築小委員会	主 査 名：佐野武仁 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：加藤 信介
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・「ガラス建築 意匠と機能の知識」に関する研究を行い、ガラス建築の外装・内装・設備のディテールを作成するほか、技術資料についてまとめ、ガラス建築の実学についてまとめた技術書</p> <p>・2008 年度の委員会活動をまとめ、2009 年 5 月度出版の予定。刊行後、10 月末から 11 月にかけてシンポジウムを開催の予定。シンポジウムの計画は、新年度から始める予定。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：委員公募はなかった。	
	主査 佐野武仁(昭和女子大学) 幹事 芦川智(昭和女子大学)・新井健一(板硝子協会)・村尾元朗(明星大学非常勤講師) 編集委員 高井啓明(竹中工務店)・佐々木邦彦(竹中工務店)・堤仁美(早稲田大学)・山梨知彦(日建設計)、 内田敦子(昭和女子大学)、田村圭介(昭和女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	ガラス建築情報 WG ガラス建築は、ガラス、サッシュ、ブラインド、施工会社、メンテナンス会社などが、それぞれ独立した組織で横のつながりはない。また、構造や設備のディテールなどが一緒になったデータもない。また、ガラスのディスプレイなども含めて 1 冊の本にまとめ、ガラス建築の詳細が判る本を出版することを目的としている。	
2008 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	5 月上旬「ガラス建築」刊行 10 月末または 11 月初め シンポジウム開催予定達成度 90% 程度
委員会活動の問題点・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>委員会開催3年目で、「ガラス建築 意匠と機能の知識」が刊行することになった。予定通りに進んでいるので、評価を「A」としました。</p> <p>委員全体が協力的で、この5月には刊行の予定です。 特に問題はありません。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者の評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。